



**2014 年度**

(平成 26 年度)

**事業報告書**

特定非営利活動法人

**トルシーダ**

## 平成 26 年度の活動を振り返って

代表 伊東 浄江

平成 26 年度に印象的だったことを三つ。

一つ目は、K君の高校卒業です。11月に中学編入、在席期間が短いという理由で卒業も留置きも認められず中卒資格のないまま義務教育年齢を過ぎたK君。どうすれば、と心配する指導者を後目に四月から当たり前のように中卒認定試験の勉強を始めたK君。だけどやっぱり日本語は苦手で、苦戦の毎日。でも、あきらめずに2年がかりで高校に入学。高校ではバトミントン部で活躍。働きながらほぼ皆勤で高校卒業。この間、悔しかったことも、大変だったことも数え切れないほどあったことでしょう。いつもは柳に風と受け流しても、いつかインタビューをしたときの涙は心からあふれ出た気持ちだと思います。

中学編入のときトルシーダはいったい何をどうしたら良かったんだろうか…とため息をつくことも度々だったけど(分かったことは、学校とトルシーダでは守るべきものが違うのだという現実)自分の力でそれらを乗り越え、高校を卒業したK君。誇りです。おめでとうK君、これからも期待しています。

もう一つは虹の架け橋教室の修了とその継続です。5年の事業実施で199人の子どもたちが進路を見つけて巣立って行きました。この間に団体としても経験を重ね蓄積したノウハウや、構築したネットワークはこれからの活動の財産になっていくことと思います。みよし市では初期指導教室が開催されることになりました。豊田市では残念ながら受け入れ対象が制限され、教室の規模を縮小しての委託事業になりましたが、学齢超過の課題を社会に説明することが求められていると捉え、自主事業としてTIAのクラスを実施していきます。

三つ目は、高校入試制度変更に伴う外国人特別選抜入試見直しへの働きかけです。大村知事に面会し外国につながる子どもたちの高校入試に関する問題について、説明の機会を得ました。そして、ルビ付き問題というただ一点だけですが、入試委員会での決定が覆りました。ただ、今回はルビが認められただけです。いろいろな状況の子どもたちがいます。全ての子どもたちに学びの機会があるようこれからも活動を続けていきたいと思っています。



## 平成 26 年度活動報告書 もくじ

|     |                   |
|-----|-------------------|
| P 2 | 平成 26 年度の活動を振り返って |
| P 3 | 平成 26 年度実施事業一覧    |
| P 4 | 活動報告(1)日本語教室 CSN  |
| P 6 | 活動報告(2)地域の日本語教育   |
| P10 | 活動報告(3)情報提供事業     |
| P13 | 運営・広報の記録          |
| P15 | 事業別収支報告           |
| P16 | 資料                |

## 平成 26 年度(2014) 実施事業一覧

### 外国籍の青少年への居場所提供事業

#### \* 日本語教室CSN

文部科学省・IOM 委託 (4 月～2 月 17 日) 自主事業(2 月 18 日～3 月)  
定住外国人の子どもの就学支援事業 虹の架け橋教室

### 日本語教育事業

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| * 就労支援の中級日本語講座            | 豊田市ものづくり産業振興課委託事業    |
| * 外国人就労支援セミナー             | 豊田市ものづくり産業振興課委託事業    |
| * 放課後学習支援教室 Passo a Passo | 自主事業(愛知県日本語学習支援基金助成) |
| * プレスクールきらきら              | 豊田市教育委員会委託事業         |
| * 岡崎日本語教室                 | 岡崎市市民協働推進課委託事業       |
| * 日本語指導者研修                | 自主事業                 |

### 情報提供事業

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| * 生活情報提供        | 自主事業               |
| * 教育進路相談        | 自主事業               |
| * 地域交流活動        | 自主事業               |
| * 地域日本語教育ハンドブック | 愛知県国際課多文化共生推進室委託事業 |

### ネットワーク事業

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| * 防災ネットワーク「たかはし」 | 豊田市            |
| * カエルプロジェクト実施調整  | 三井物産 CSR 助成事業  |
| * 青少年のためのキャリア教育  | 夢育プロジェクトとの協働事業 |

## 日本語教室 CSN

4月～2月 定住外国人の子どもの就学支援事業「虹の架け橋教室」 文部科学省・IOM 委託事業

2月～3月 自主事業

委託費 17,312,098 円

日本の学校へ通っていない外国籍の子どもが日本語を学び、昼間安心していただける居場所をつくるため日本語教室を開いています。

外国籍の住民が多く暮らしている豊田市保見団地と、保見団地以外の子どもたちが通しやすい豊田市駅前に教室を設け、日本語教室を開きました。定住外国人の子どもの就学支援事業は2月で終了となりましたが、進路の決まらない子どもたちや受験を控えた子どもたちの学びの場を確保するため、3月末まで自主財源で実施しました。多くの子どもたちが進路を決め、新たな一步を踏み出したことは大きな喜びです。

### <活動実績>

■期間:平成26年4月8日～平成27年3月20日(235日)

10:00～15:00 月曜日～土曜日

■場所:【保見教室】月～金の午前 豊田市保見ヶ丘5-1 UR保見ヶ丘第一集会所

月～金の午後(水曜日を除く)と土曜日のプレスクール 同上 UR第二集会所

水曜日午後 豊田市四反田121-1 保見交流館

【TIA教室】豊田市小坂本1-25 豊田市産業文化センター3階 豊田市国際交流協会内

【北部小教室】みよし市福谷超坂上12 みよし市立北部小学校内

■学習者:6歳～18歳

不就学、不登校、日本語を学びたいブラジル人学校の児童生徒

公立学校に通い、日本語指導が必要な児童生徒ほか 計113名

■スタッフ:コーディネーター1名

日本語・教科指導11名、

バイリンガル指導3名(ポルトガル語2名、中国語1名)

事務・会計2名、通訳1名(外国人子弟教育支援員として豊田市国際交流協会より派遣)

送迎車運転1名

■内容

- 平日毎日行う教室活動では、初期日本語指導や子どもたちの進路希望に応じ高校進学のための教科指導、受験指導を行いました。
- 体験型の学習を通じて子どもたちの社会性を育む活動を積極的に行いました。
- 子どもたちの進路について本人や保護者と共に考えるため、進学や教育制度に関する様々な情報提供を行いました

■参加費 無料

【学習者の内訳】 出身につながる国別

(単位:名)

|       | ブラジル | ペルー | 中国 | フィリピン | ベトナム | ネパール | バングラ<br>デシュ | 小計  |
|-------|------|-----|----|-------|------|------|-------------|-----|
| 就学前年齢 | 28   | 4   | 1  | 0     | 0    | 0    | 0           | 33  |
| 小学生年齢 | 11   | 4   | 0  | 8     | 0    | 1    | 2           | 26  |
| 中学生年齢 | 13   | 3   | 6  | 1     | 2    | 0    | 0           | 25  |
| 高校生年齢 | 12   | 2   | 9  | 3     | 2    | 1    | 0           | 29  |
| 国別計   | 64   | 13  | 16 | 12    | 4    | 2    | 2           | 113 |

(帰化や家庭の状況により日本国籍の学習者もいるが、出身につながる国別で分類)

【学習者の状況】 就学状況別

(単位:名)

|       | 不就学(未就学) | 不登校 | 公立学校在籍<br>日本語指導が必要 | ブラジル人学校 | 小計  |
|-------|----------|-----|--------------------|---------|-----|
| 就学前年齢 | 33       |     |                    |         | 33  |
| 小学生年齢 | 13       | 7   | 1                  | 5       | 26  |
| 中学生年齢 | 7        | 5   | 12                 | 1       | 25  |
| 学齢超過  | 29       |     |                    | 0       | 29  |
|       | 82       | 12  | 13                 | 6       | 113 |

【教室活動と主な体験型学習のようす】

**保見教室**

来日したばかりの子どもや不就学の子ども居場所づくりと日本語指導を行いました。



**TIA 教室**

高校進学を目指す子どもたちの日本語や教科指導、受験のためのサポートを行いました。



**北部小教室**

学校内で日本語や算数の取り出し指導をしました。



**プレスクール**

ひらがなの学習や学校生活の約束など、入学準備を行いました。

**日本を知る ～文化・季節の行事・農業体験～**



季節の行事や農業体験、社会見学等を通じて日本文化や地域について学びました。

**キャリア教育と地域交流**



地域の祭りで地域住民の方たちと交流しました。学校見学に行ったり、進学した先輩や専門職の方の話聞いて、将来について考えました。

## ■成果と課題

4月に日本語の学習をはじめた学齢期の子どもたちの多くは、10月に小学校に編入し、無事学校生活を送れるようになりました。学齢超過の子どもたちは、高校受験に挑戦し、夜間や昼間定時制高校、公立高校の外国人特別選抜試験だけでなく一般試験でも合格し全員高校進学しました。指導者が日本語や教科の学習指導について経験を積み重ねてきていること、教室全体として学習に向かう雰囲気が出てきたことがこのような成果につながったと思います。

一方で、学校に在籍しながら教室に通っていた子どもは、来年度以降も引き続き支援が必要で、家庭の協力を得ながら、生活習慣を整えていくことが課題です。

教室活動以外にも、地域の多くの方々や関係機関の協力を得て、様々な体験型の活動を実施することができました。今年度さらに新たな連携関係ができたことも大きな成果です。

### 【子どもたちの進路】

(単位：名)

|        |    |          |    |
|--------|----|----------|----|
| 小学校 入学 | 33 | ブラジル人学校  | 13 |
| 小学校 編入 | 17 | 就労       | 6  |
| 中学校 編入 | 6  | 帰国       | 5  |
| 不登校の解消 | 4  | 転居(国内)   | 1  |
| 高校進学   | 16 | 次年度も継続予定 | 12 |

\*進学先: 県立豊田西高校夜間定時制 7名、 県立衣台高校 7名 (内、外国人選抜試験 4名)  
県立刈谷東高校昼間定時制 1名、 私立高校普通科1名



活動報告(2)日本語教育事業

## 地域の日本語教育

外国籍の住民が日本語を学ぶ場を作り、地域での暮らしを応援するために日本語教室を開いています。大人を対象とした就労支援のクラスや子どもの学習支援の教室を行いました。

## 中級日本語講座と就労支援セミナー

豊田市ものづくり産業振興課外国人就労支援委託事業

委託費 2,084,400 円

### 中級日本語講座

外国籍住民の就労やキャリアアップに役立つよう日本語教室を開催しました。

#### <活動実績>

- 期間: 1ターム…平成 26 年 4 月 25 日～8 月 1 日 全 36 回
- 2ターム…平成 26 年 9 月 1 日～12 月 5 日 全 36 回
- 月、水、金 19:00～20:30 計 72 回



■場所:豊田市若宮町 1-57-1 A館 t-face 9階

豊田市就労支援室会議室、とよた市民活動センター会議室等

■学習者:就労やステップアップのために日本語を学びたい外国人 16歳以上

1ターム 42名、2ターム 54名 (のべ参加人数計 1425名)

出身:ブラジル、ペルー、インドネシア、中国、韓国、ベトナム、タイ

■指導者:日本語教師 4名

■内容 Iクラス 初級レベルの文法、漢字導入から基本の積み上げを目指しました。

IIクラス 日本事情のテキストを使ってコミュニケーションについて学び、会話を組み立てたり、意見をまとめたり、発表したりする活動を中心に行いました。

2クラス合同交流会 2回

ワークショップ「日本人とのコミュニケーションを考える」講師:心理カウンセラー道田智子氏

■参加費 2,000円 ほかにテキスト代実費負担

■成果と課題

講座開講 6年目に入り、日本語能力試験対策講座との相乗効果で講座が周知され、幅広い立場の学習者の参加があったこと、日本語の学習機会が少ない日系ブラジル人の継続的な参加が多いことは大きな成果です。一方で、定員を大きく上回る学習者を受け入れたことで、寄り添った丁寧な指導が困難だったという課題が残りました。

2つのクラスのレベル差の広がり懸念して行った合同交流会や学習発表会、ワークショップでは、レベルにとらわれない活動ができ、学習者同士の交流や情報交換の場が作れたことも大きな成果だと考えます。彼らが日本人とより良いコミュニケーションを取り、職場や地域で活躍することを目指して講座を継続していきたいと考えています。

## 外国人就労支援セミナー

外国籍住民が就職する際に日本語のレベルが具体的に示せるよう、日本語能力試験受験のための対策講座を開催しました。

### <活動実績>

■期間:前期 平成26年5月18日~6月29日 全7回

後期 平成26年10月19日~11月30日 全7回

毎週日曜日 14:00~17:00 計14回

■場所:豊田市若宮町 1-57-1 A館 t-face 9階

豊田市就労支援室会議室、とよた市民活動センター活動室ほか

■学習者 前期 47名(のべ参加人数 242名)

後期 51名(のべ参加人数 269名)

出身:ブラジル、ペルー、中国、ベトナム、インドネシア、フィリ

ン

■内容 日本語能力試験 N1~N3 の受験対策講座(文法、語彙、漢字、読解、聴解)

受験レベル別に3クラスに分けて実施

■参加費 1,000円 (資料代として。ただし、中級講座受講者は無料)



## ■成果

前期 合格者 N1：2名、N2：3名、N3：7名、N4：6名 計18名(受験者37名中)  
後期 合格者 N1：1名、N2：4名、N3：8名 計13名(受験者41名中)

N2に合格することを目標に始めた講座でしたが、継続することで受験者の意識が高まり、今回もN1に合格者を出すに至ったことは大きな成果です。中級日本語講座からの参加者も多く、どのレベルも受講者が増えており、仕事につなげるだけでなく、自身の日本語能力を高めて日本での生活に生かしたいなど多様な目的での参加が見られるようになりました。短期の講座ではあるものの「日本語能力試験」は日本語能力の客観的評価になることが、学習者や企業にも周知されてきていることを感じます。

## 外国籍児童・生徒の放課後学習支援教室 **Passo a passo**

愛知県日本語学習支援基金助成事業  
助成金 200,000円

三好丘小学校に在籍する児童を対象に、宿題や漢字、計算を指導する放課後学習支援教室を開催しました。

### <活動実績>

- 期間：平成26年5月～平成27年3月 火、木曜日 15:00～17:00
- 場所：みよし市三好丘7-1 三好丘小学校 和室
- 学習者：三好丘小学校に在籍する外国人児童 8名
- スタッフ コーディネーター1名、指導者6名
- 参加費 無料
- 内容 \*宿題のサポート \*音読練習 \*漢字、計算の練習
- 成果と課題

家庭での母語保持の意識啓発と教室への参加の期待があり、母親の読み聞かせの時間を持ったが、指導者から学習時間が短くなるという懸念の声がかかり、両立が難しいことが分かった。

## プレスクール **きらきら**

豊田市教育委員会プレスクール開催業務委託事業  
委託費 1,899,957円

### <活動実績>

- 期間 平成26年12月1日～平成27年3月27日 月曜日、木曜日(全25回) 15:00～16:45
- 場所 豊田市保見ヶ丘2-185 豊田市立西保見小学校の一教室
- 学習者 就学直前の年齢の外国人の子ども(外国につながる日本国籍の子を含む)10名
- スタッフ コーディネーター1名、日本語指導2名、体育指導1名、バイリンガル指導4名
- 内容 外国人の子どもたちが教室への参加を通して、小学校生活を楽しみに迎えることができるようにプレスクールを開催しました。語彙調査、学校生活のための適応指導、日本語などを行いました。また、親子弁

当教室も開催しました。

指導者は、指導内容についての研修会や発達障害について学ぶため養護学校の見学も行いました。

#### ■成果と課題

入室時には語彙調査をおこない指導の参考としましたが、日本語とポルトガル語、両言語ともに弱い子どもがおり、学校での指導が困難なことが予想されます。このようなケースはプレスクール以前の年齢からの働きかけが必要であると思われます。一方である程度の日本語とポルトガル語ができる子どもたちは、ほぼ授業計画に沿った指導を行なうことができました。ひらがなは、書くことよりも読めることにポイントを絞って指導した結果、ほとんどの子どもが読めるようになり、一定の効果があつたといえます。体育を始めとする様々な働きかけにより適応指導を行ないましたが、ゲームで譲り合う姿や、友だちを気遣う姿も見られ短い期間で子どもたちの成長を感じることができました。

## 岡崎日本語教室

岡崎市日本語教室開催業務事業  
委託費 486,000 円

### <活動実績>

- 期間 平成26年 10月4日～12月20日 土曜日 10:00～12:00 (全12回)
- 場所 岡崎市上和田町荒野 県営上和田住宅集会所
- 学習者 8名 (出身:ブラジル、中国、タイ、フィリピン)
- スタッフ コーディネーター1名、日本語指導4名(入門、初級クラス各2名)、通訳1名(ポルトガル語)
- 内容 日本語を勉強したことがない人、会話ができても文字に不安がある人、日本語の勉強をもう一度したい人を対象とした入門クラスと、最低限の会話ができる人を対象とした初級クラスの2クラスを実施しました。両クラスとも教室の外に出かけ、体験学習を行いました。

#### ■成果と課題

今回の学習者のうち、日本人と結婚しているアジア系の人たちは来日して日が浅いものの家庭や職場でも日本語を使う機会があり、少ない回数ながら日本語の進捗が見られました。一方で日系ブラジル人は日本語を勉強したことがあるものの体系的な知識はなく、整理のため文法事項の疑問に答える時間が必要でした。

体験学習は日本語学習の目的を持つためにも効果的でしたが、3回に1回の割合では準備時間が十分取れない内容があつたり、出席が安定しないことで連絡が困難になることもあつたことが課題です。

ブラジル人と地域社会をつなぐ人材の活用や日本語教室の開催時期、曜日、回数等に対応した内容を検討することが必要だと思われます。



## 指導者の研修

自主事業

日本語教室csnの指導者たちが、学習者の状況や日本語指導について理解を深め、より良い指導に繋げるために自主研修をおこないました。

### <活動実績>

- 期間 平成 26 年4月～平成 27 年3月 毎週水曜日 15:30～17:30
- 場所 豊田市四反田121-1 保見交流館ほか
- 参加者 日本語教室csn 日本語指導者5名
- 内容 日本語の指導方法および教材研究。指導案の作成。学習者の状況等情報交換
- 参加料 無料
- 成果と課題

指導者が指導方法等について具体的に検討しあう時間を年間を通じて持つことで、スキルアップを図ることができました。また、学習者である子どもたちの状況を常に共有することできめ細かな対応ができたと思います。常に参加したメンバーに加えて、不定期でも参加できる指導者を増やしていくことで指導者全体のスキルアップを目指したいと思います。



### 活動報告(3)情報提供事業

## 地域との交流

外国籍の住民が地域や日本社会の情報を得、地域のなかで地域の人とともに豊かに暮らしていけるよう交流活動や情報発信を行いました。

## 生活や教育、進路に関する情報提供・相談

自主事業

日本で暮らしている外国籍住民の生活の困りごとの相談窓口となり、情報提供を行っています。日本での進学や進路についての情報提供を行い、必要な場合には通訳を用意したり、専門機関につなぐなどの活動を通年、無料で行っています。今年度は、日本語が不十分だが学校で日本語の学習ができなくて困っているという相談や、高校進学後の学習や履修についての相談などの事例がありました。

## 地域交流活動

自主事業

地域のイベントへの参加、見学やボランティア体験の受け入れを通して、地域の様々な立場の方に外国籍の子どもたちの状況を知っていただき、理解者を増やす機会としました。

<地域のイベントへの参加> 日本語教室csnの子どもたちと一緒に参加しました。

- ・ほみっ子夏まつり 夏休み子ども工作教室の講師役として参加。(7月)
- ・国際の日 豊田市国際交流協会のイベントに出演(10月)
- ・保見ふれあいまつり クリスマスオーナメントづくりのお店とお活動パネルの展示 (11月)
- ・豊田市民の誓いあったかフェスタ お茶の試飲と販売と発表 上郷コミュニティセンター (3月)
- ・新豊田市 10 年祭 豊田スカイホール(3月)

## 青少年のためのキャリア教育

自主事業

夢育プロジェクトの活動「みらい応援プロジェクト」に協力し、外国にルーツを持つ青少年の就労支援につながる活動を行いました。

- ・茶摘みや職場体験など
- ・ぬくもりの会 高橋交流館の一人暮らしの高齢者への配食サービスのお手伝い(7月)

## 地域日本語教育ハンドブック

愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室委託

地域における日本語教育推進事業

委託費 2,287,000 円

多文化共生の社会づくりに向け、地域の日本語教室活動を発展させることを目的に、教室運営の目安となるハンドブックを作成するとともに、ハンドブック普及のための説明会を開催しました。

### <活動実績>

■期間 平成 26 年 7 月～27 年2月

■スタッフ 2 名 検討会議委員 6 名

■内容 ハンドブック作成検討会議の開催

実態調査(アンケートと日本語教室のヒヤリング)

ハンドブック作成『あいち地域日本語教室ハンドブック つなげる ひろがる』(1000 部)

ハンドブック普及のためのセミナー開催

地域日本語教室ハンドブック使い方セミナー 平成 27 年1月21日 14:00～16:00

愛知県国際交流協会アイリスルームにて開催

■成果と今後

日本語ボランティア個人を対象としたアンケートを元に、教室運営の参考とハンドブックを作成し、使い方のセミナーも行った。今後、学習者も地域の人材として活躍できるような地域日本語教室が増えることが期待される。

## 防災ネットワークたかはし

高橋防災ボランティア連絡会、日本語教室ともだちなどと連携を組み、外国人住民の防災意識を高めるための活動を行いました。平成 25 年度に作成した防災冊子『地震がきたらどうしよう』を活用する事業を行い、トルシーダは命を守る日本語講座のコーディネートを担当しました。

### <活動実績>

■期間 平成 26 年4月～平成 27 年3月

■場所 豊田市高橋町内

■参加者 高橋地区の外国人住民 のべ 50 名 「命を守る日本語講座」

■スタッフ 1 名

■内容 防災訓練の案内チラシ翻訳、配布、講座通訳派遣、「命を守る日本語講座」2回実施

■成果

「命を守る日本語講座」には、述べ50名ほどの外国人参加者があり、目的だった日本人住民と外国人住民がお互いに知り合い、必要な防災の情報を共有することができました。また、会員が地区防災訓練の翻訳チラシを外国人世帯に手渡しで届けたところ地区防災訓練に初めて外国人の参加が得られました。地道な活動が結果的に顔の見える関係づくりにつながることを実感しました。

## カエルプロジェクトのお手伝い

三井物産株式会社 CSR 事業部

108,000 円

カエルプロジェクトは、心理の専門家がブラジルサンパウロを拠点に日本から帰国した子どもたちの心のケアをしている活動です。カエルプロジェクトが日本(豊田市)での活動を行うための実施調整等を行いました。

<活動実績>

■日時 平成26年10月18日 14:30~15:30

■場所 豊田市小坂本町1-25 豊田市産業文化センター3階豊田市国際交流協会内

■参加者 日本で子育てをしている日系ブラジル人保護者、学校通訳、日本語指導員ほか約30名

■内容 「子どもの将来を考える懇談会2014」

ブラジル人学校の先生や日本で子育てをしているブラジル人保護者が日本で子育てをしたり、教育を受けたりすることについて話し合いました。

## 情報発信 <講義、活動報告、執筆>

\* 外国につながる子どもたちの「居場所」づくり

主催 (特活)関西国際交流団体協議会ほか

平成27年2月8日(日)15:00~17:00

「不就学の子どもの日本語教室、出口としての就労支援」をテーマに講演

\* 『南米につながる子どもたちと教育 複数文化を「力」に変えていくために』

第5章 日本の学校へ行っていない子どもたちへの進路支援 伊東浄江

南山大学ラテンアメリカ研究センター研究シリーズ5

牛田千鶴 編 (行路社)



\* 第10回移住労働者と連帯する全国ワークショップ・仙台

平成26年6月7日 「外国につながる子どもたち」、「貧困」合同分科会にて報告

「外国につながる子どもたちの進路支援～学齢超過の子どもたちの学びの場と進路・日本語教室 CSN の活動を通して」 伊東浄江

### <ボランティア、インターンの受け入れ>

- ・豊田社会福祉協議会ボランティア体験隊(7月、8月) 中学生、高校生 25名
- ・中京大学現代社会学部齊藤ゼミ生

### <会議への参加・調査協力>

- ・豊田市多文化共生推進協議会
- ・豊田市教育委員会不就学調査
- ・岡崎市国際化推進委員会委員
- ・新あいち多文化共生推進プラン検討会議委員

---

## 運営の報告

---

### 理事会

- 第1回 平成26年5月25日 9:00～13:00 崇化館交流館にて  
平成25年度事業報告と決算報告、平成26年度事業計画と予算について
- 第2回 平成26年7月19日 10:00～12:00 豊田市国際交流協会ボランティアルームにて  
平成26年度の事業、定款変更について
- 第3回 平成26年9月20日 10:00～12:00 豊田市国際交流協会ボランティアルームにて  
平成26年度事業計画と予算の変更について
- 第4回 平成27年3月11日 18:00～20:30 とよた市民活動センター活動室2にて  
平成26年度の事業計画及び予算について

### 総会

- 第1回 平成26年6月21日 10:00～12:00 とよた市民活動センターにて  
平成25年度事業報告、収支決算報告と承認  
平成26年度事業計画、収支予算計画と承認
- 臨時総会 平成26年9月20日 13時～15時 豊田市国際交流協会ボランティアルームにて  
定款変更と平成26年度事業予算、計画の変更の承認

---

## 表彰の記録

---

新☆豊田市10年の取組功績者感謝状



---

## 広報の記録

---

平成26年5月31日 日本経済新聞夕刊 中部ひと模様「外国籍の子に生きる力」伊東浄江さん

平成26年6月6日 中日新聞 カポエイラ教室再開へ 豊田 保見団地

平成26年6月23日号 日本教育新聞

「地域を支えるPTA 社会教育 民生・児童委員 地方議会 愛知・豊田市のNPOに聞く」

平成26年8月25日号 毎日新聞 中部夕刊

「外国人の子 学業支援:継続して 国の助成、今年度終了」

同 東京夕刊「当事者ら やめないで」

平成 26 年 9 月 6 日 中日新聞 虹「日本語 僕も苦手だった」外国人教育支援員平野ケンジ

平成 26 年 9 月 27 日 中日新聞 朝刊 豊田版 「豊田の松田さん 中学で母語協力指導員」

平成 26 年 11 月 4 日 毎日新聞 地方版

「中学生英語スピーチコンテスト 最優秀賞スピーチ、豊田の山田さんに／愛知」

平成 27 年 3 月 23 日 中日新聞 愛知県内版 高校入試の外国人選抜方法変更「難易度上がる」反発の声  
雑誌『カジカジ H vol.48 2015 NEW YEAR STYLE ISSUE (CARTOP MOOK) 』

美容師という仕事についてのお話とヘアアレンジ体験。日本語教室csnの子どもたちがモデルに。

雑誌『fratto』 特集移民大国ニッポンの前夜「トルシーダ！子どもたちの居場所をつくる」

(東三河西三河浜松コミュニティ&ライフスタイルマガジン 20 号)

ウェブ 平成 26 年 10 月 「あい子どもネット」がんばる人、みつけ！トルシーダ！

## 会員の皆様へ

地域の外国籍住民を応援する  
活動を支えていただき  
ありがとうございます。

.....

会員になって活動を応援してください！

賛助会員 年会費 1 口 1000 円(3 口以上)

郵便振替口座:008906129519

加入者名:特定非営利活動法人トルシーダ

入会のご希望は↓

.....

特定非営利活動法人トルシーダ

おもな活動場所:愛知県豊田市保見ヶ丘 5-1-1 UR 都市機構保見ヶ丘第一、第二集会所

団体 TEL 090-6462-3867

メール [torcidajpp@yahoo.co.jp](mailto:torcidajpp@yahoo.co.jp)

ホームページ <http://www.geocities.jp/torcidajpp/>





保見団  
外国人と  
くがブラ  
業に就く  
ることは  
08年のリ  
主婦業を  
クは彼ら  
以降、保  
費を必死  
業で日本

## 外国人の子学業支援:継続して 国の助成、今年度終了



毎日新聞 2014年08月25日 中部夕刊

日本に住む外国人の子供の学業を支援する国の事業が今年度で終わる見通しだ。2008年のリーマン・ショックの影響で失業した在日ブラジル人の子を想定し、09年度に始まったが、中国やフィリピン、タイなどの子も国の助成を受けるNPO法人の日本語教室で学ぶ。国は役割を終えたとしているが、関係者は「日本のためにもなる」と支援継続を強く望んでいる。

事業は、外国人の子に日本語などを教え公立校への入学、転入を支援する文部科学省の「虹の架け橋教室」（約37億円）で、日本語教室などを開く団体に補助金を出す。3年間の実施期間をさらに3年延長し、09年度からの4年間で延べ約6200人が学び、約2600人が就学した。

補助金をもらうNPO法人「多文化共生センター東京」（東京都荒川区）は、15歳の学齢を過ぎた子供の高校入学を支援。年間2000万円の補助金で講師陣を充実させ、当初週12時間だった授業を20時間まで増やせた。

東京都立晴海総合高1年、セレスタ・ブラギャンさん（17）は昨年4月にネパールから来日。同NPOのもとで猛勉強し、この春の一般入試で合格した。大学で学び、ロボット開発に携わるのが夢だ。

◇豊田の教室も要望

ブラジルや中国、フィリピンなどからの外国人児童・生徒約50人向けの無料日本語教室を愛知県豊田市で開くNPO法人「トルシーダ」も助成を受ける。コーディネーターの伊東浄江（きよえ）さんは「南米の子は減ったが、それ以外の国の子が増えた。日本語や社会について学び、居場所を必要とする子供の数は変わらない。事業の継続を希望する」と話す。補助のおかげで、教室を1日2時間から4時間に延長し、送迎車で徒歩圏外からも子供を受け入れられるようになった。経済事情が厳しい保護者も多く、月謝を取るなどして対応するのは不可能だという。【藤沢美由紀、花岡洋二】

## 当事者ら「やめないで」

東京夕刊 2014年08月25日



日本に住む外国人の子供の学業を支援する国の事業が今年度で終わる見通しだ。2008年のリーマン・ショックの影響で失業した在日ブラジル人の子を想定し、09年度に始まったが、中国やフィリピン、タイなどの子も国の助成を受けるNPO法人の日本語教室で学ぶ。国は役割を終えたとしているが、関係者は「日本のためにもなる」と支援継続を強く望んでいる。

事業は外国人の子に日本語などを教え公立校への入学、転入を支援する文部科学省の「虹の架け橋教室」（約37億円）で日本語教室などを開く団体に補助金を出す。3年の実施期間を3年延長し09年度からの4年で延べ約6200人が学び約2600人が就学した。

補助金をもらうNPO法人「多文化共生センター東京」（東京都荒川区）は、15歳の学齢を過ぎた子供の高校入学を支援。年間2000万円の補助金で講師陣を充実させ、当初週12時間だった授業を20時間まで増やせた。

東京都立晴海総合高1年、セレスタ・ブラギャンさん（17）は昨年4月にネパールから来日。同NPOのもとで猛勉強し、この春の一般入試で合格した。「通う場所があり、友達もできた。事業がなければアルバイトだけの生活だったと思う」。大学で学び、ロボット開発に携わるのが夢だ。

同NPOの王慧謹代表理事は「母語も日本語も不十分なまま育てば将来社会的弱者になる。支援する方が日本にも良いはずだ」と話す。文科省の担当者は「南米系出身者の数は減り、ずっと税金を使うことができるかどうか難しい」と話す。【藤沢美由紀】

中日新聞 愛知 2014年9月27日

### 豊田の松田さん、中学で母語協力指導員 「将来のため今勉強を」

「いま、ちゃんと勉強をしていこう」と生徒を励ます松田モニカさん=名古屋港区の港明中で



豊田市の日系ブラジル人二世、松田モニカさん（26）が名古屋市港区の港明中学校で、母語協力指導員として子どもたちを支えている。授業が分からず勉強を諦めようとする子を見ると、自分の経験が重なる。「自分がやりたいことが見つかるためのために頑張ろう」と励まし続けている。

港明中の生徒は三百二十六人で、うち約一割がブラジルやフィリピンなどの外国人。松田さんは、一部の生徒の教科の個別指導で通訳を務めたり、保護者との連絡の窓口になったりしている。

出稼ぎの父を追って七歳で母とともに来日。小学三年のとき、豊田市に引っ越した。地元の小中学校に通ったが、中学二年のころから急に勉強が難しく感じられ、学校を休むようになった。朝、家を出ても、向かう先は同じ学年のブラジル人の友達の家。雑誌を見たり、音楽を聴いたりして過

ごした。

サボったつければ自分に回ってきた。県立高校を受験したが合格せず、就職した。給与が良くて転職した自動車部品の会社では、プレス機械の前で油まみれになった。毎日同じ作業の繰り返し。「私の一生はこれで終わっちゃうのかな」。そう思っていたら、リーマン・ショックでリストラされた。

「働きながら勉強するという方法もある」。中学時代に通った豊田市の日本語教室「トルシーダ」に立ち寄ると、代表の伊東浄江（きよえ）さん（57）が定時制高校という選択肢を教えてくれた。もともと勉強もできて、日本語能力も高かった。伊東さんに「あきらめる必要はない」と励まされ、数学や作文を猛勉強。二〇〇九年四月、豊田西高校定時制に入学した。

松田さんは「ブラジル人であることに甘え、できないのが当たり前だと思っていた」と反省する。在学中に今の仕事に巡り合った。高校に行ったことで進める道の幅が広がった。一三年三月、同校を卒業した。

勉強に身が入らない子には、こう語り掛ける。「いま大きな目標がなくても、やりたいことはいずれ出てくる。選択肢を広げるためにも高校には行こう」。確固たる信念を持って、子どもたちに向き合う。（戸川祐馬）

